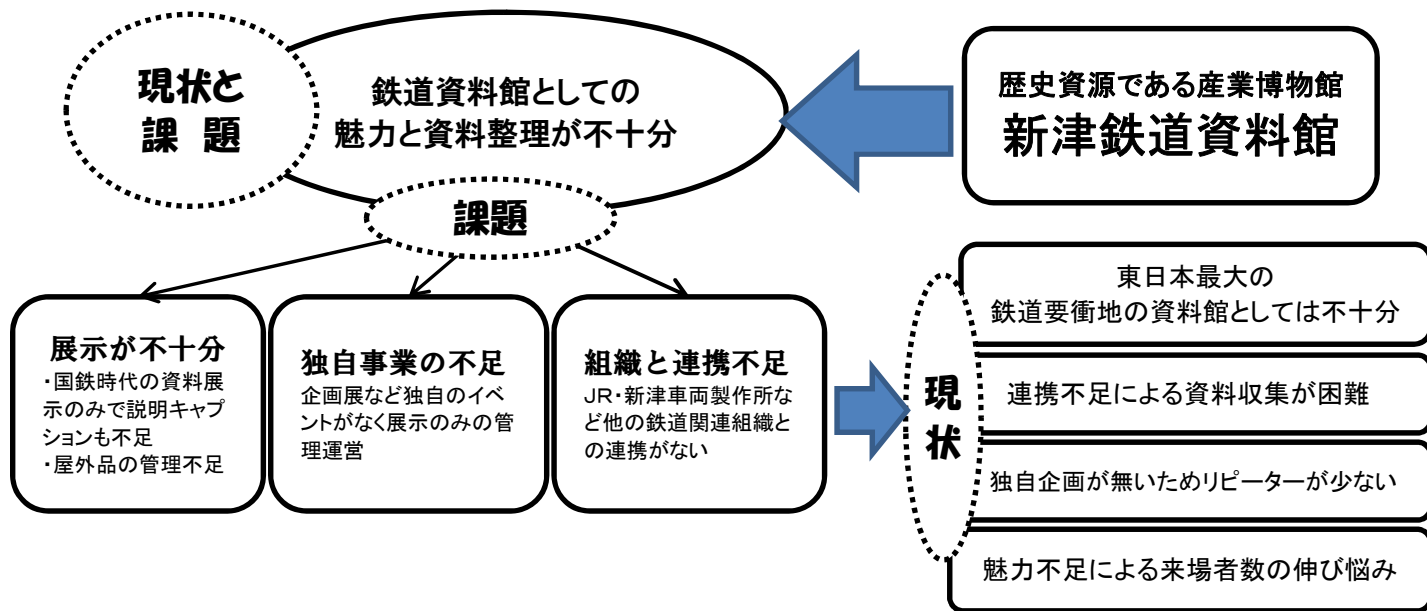


# 平成24年度 新潟市新津鉄道資料館魅力創造事業説明

昭和58年に開館、平成10年に移転した鉄道資料館は、旧国鉄時代の資料が中心で、資料としては貴重な品物が多くある半面、現在、全国で開設・運営されている鉄道関連の資料館や博物館と比較すると展示品の目新しさや規模、さらには幅広い年代層の集客に欠けています。

しかし、「鉄道」は小さな子供から大人までが楽しめる乗り物であり、私たちの生活に密着した身近な産業文化です。もっと、沢山の人が身近に感じる展示内容と楽しみながら産業文化を学べる手法を取り入れるなど、一層の工夫と資料館としてのポテンシャルを上げていく必要があります。そのためにも、既存施設を活かしつつ、新津鉄道資料館魅力創造事業に取り組みすることで、資料館の新たな魅力づくりに繋げていくこととします。



課題を解決し新たな魅力づくりのため  
新津鉄道資料館魅力創造事業を実施

## 新津鉄道資料館魅力創造事業の具体的な取り組み方向

### 【平成24年度】

- ・鉄道資料館の魅力再発見として新津鉄道資料館活性化基本計画を策定する
- ・鉄道資料館活性化検討委員を選任し、的確な助言と指導をいただく
- ・鉄道資料館の資料を再整理する
- ・鉄道関係機関との連携を強め、協力関係の構築を図る

### 【平成25年度】

- ・新津鉄道資料館活性化基本計画に基づいた実施設計と工事を着工する

### 【平成26年度】

- ・工事を完了し、リニューアルオープンする

効果

- 産業博物館としての交流人口拡大の新たな可能性づくり
- 関係施設、組織の協働事業による連携効果
- 「新津鉄道資料館」を全国発信で新潟市の活性化
- 歴史・地域資源の活用による新潟の魅力発信